

令和２年度 シラバス

愛媛県立津島高等学校

教科	芸術	科目	美術Ⅰ	単位数	2	学年	1年	類型	共通選択生
教科書	高校生の美術Ⅰ(日本文教出版)			副教材	なし				

学期	月	単元名	指導項目、内容	評価の観点					学習のねらい・学習の目標・評価の観点
				①	②	③	④		
1 学期	4								<p>学習のねらい</p> <p>1学期は色彩、デザインの基本的な表現を勉強します。色彩の基礎では色の三属性や色相環、色の特性を学び、色彩についての知識を得て、配色について学びます。デザインでは文字について学び、レタリングを行います。</p> <p>2学期はデッサンの基礎からレタリングやデザインの勉強をします。デッサンでは、立体的な表現を目指し、形を面でとらえることや、陰影をつけ明暗表現を学びます。文字のデザインでは、アイデアの出し方を学びます。</p> <p>3学期は紙飛行機のデザインや立体表現として紙飛行機を制作し、デザインや立体感覚を養います。</p> <p>学習の目標</p> <p>美術の幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深めます。</p>
	5	デザイン／表現 色彩	色彩の基礎 1、色の三要素 2、色の三原色 3、色のもたらす効果	○		◎			
			レタリング ①文字とデザイン	○	◎				
			②名前のレタリング	○		◎			
	6	絵画／表現 空想の世界	想像を表現 空想「私」の世界 ①アイデアスケッチ		◎	○			
			②着色	○		◎			
			②仕上げ	○		◎			
		絵画／鑑賞 空想の世界	鑑賞 作品の相互鑑賞	○			◎		
	7	デザイン／表現 色彩	配色の魅力 人権ポスター ①アイデアスケッチ		◎	○			
			②構図、配色	○		◎			
2 学期	8								<p>評価の観点</p> <p>①関心・意欲・態度</p> <p>美術の創造活動の喜びを味わい、様々な表現方法や作品に興味を持ち、主体的に授業に取り組んでいるか。</p> <p>②発想や構想の能力</p> <p>感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えた事を整理し、創造的な表現の構想を練っているか。</p> <p>③創造的な技能</p> <p>創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて表現方法を工夫して表しているか。</p> <p>④鑑賞の能力</p>
	9	絵画／表現 フォトリアリズム	モノのかたち リアルな表現 形の取り方、明暗の表現	○		◎			
			フォトリアリズム ①下書き		○	◎			
	10								
			②着色		◎	○			
			③着色	◎		○			
			④仕上げ	◎	○				
	11	デザイン／表現 文字とデザイン	文字のデザイン ①アイデアスケッチ	○		◎			
			②下書き		◎	○			
	12								
			③着色	○		◎			
		デザイン／鑑賞 文字とデザイン	鑑賞 作品の相互鑑賞	○			◎		
3 学期	1								<p>美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し、その良さ美しさを想像的に味わっている。</p> <p>備考</p>
		工芸／表現 空飛ぶカタチ	紙飛行機 紙飛行機の制作 ①紙の切り取り	◎		○			
			②紙の組み立て	○		◎			
	2		③着色		◎	○			
		工芸／鑑賞 空飛ぶカタチ	作品の相互鑑賞	○			◎		
		絵画／表現 絵本の世界	絵本の一部 絵本の世界 ①アイデアスケッチ	◎	○				
	3		②下書き		◎	○			
			③着色	○	◎				
			④仕上げ		○	◎			

※評価の観点 ①:関心・意欲・態度 ②:発想や構想の能力 ③:創造的な技能 ④:鑑賞の能力

◆学習方法のポイント

【美術Ⅰ】

【才能の有無は関係ありません。基礎をしっかりと身に付け自由に表現しましょう。】

- まずは苦手意識を捨てて、自由に制作しましょう。
- 追究する精神を忘れずに制作しましょう。こだわった作品ほど奥深いものがあります。
- 作品をよりよく表現できる手段を教師から学び、時間いっぱい制作しましょう。
- 様々な作品に触れ、感性を磨きましょう。

【授業】

- 週に2時間の授業があります。
- 絵画・彫刻、デザイン、映像メディア、鑑賞など幅広い分野を学びます。
- 授業プリント、板書の記録や感想、作品等をスケッチボックスに挟みます。学期末には提出し、ノート点として採点します。
- 鑑賞の時間には積極的に発表し、意見を交換し合います。

【家庭学習】

- 積極的に美術館や博物館に足を運び、作品を鑑賞して感性を磨きましょう。
- 授業中に仕上げるができなかった作品に関しては、家庭での宿題になります。
- 作品に使えるような資料や材料を集めて保存しておきましょう。

◆評価の方法、基準

評価の方法	課題作品、授業への出席及び、学習意欲、プリントの整理状況を①関心・意欲・態度②発想や構想の能力③創造的な技能④鑑賞の能力の4つの観点から評価します。ただし、課題作品を重視します。		
評価の基準	1 学期	課題作品(全ての観点から評価します) 出席状況及び学習意欲(主に①の観点から評価します) プリントの整理状況(主に①の観点から評価します) 課題提出状況(主に①の観点から評価します)	
	2 学期	課題作品(全ての観点から評価します) 出席状況及び学習意欲(主に①の観点から評価します) プリントの整理状況(主に①の観点から評価します) 課題提出状況(主に①の観点から評価します)	
	3 学期	課題作品(全ての観点から評価します) 出席状況及び学習意欲(主に①の観点から評価します) プリントの整理状況(主に①の観点から評価します) 課題提出状況(主に①の観点から評価します)	
	学 年	1学期の成績、2学期の成績、3学期の成績の平均	